

MRI検査をうけられる方へ

1. MRI検査とは

MRI検査とは、強い磁力を使って体の中の様子を画像にする検査です。検査中、痛みはありませんが工事現場のような大きな音がします。これは装置から出る音ですので心配はありません。

2. 食事・お薬について

部位に関わらず、造影MRI検査時はすべて検査前1食は絶食です。腹部の検査もすべて、検査前1食の絶食となります。(ともに**水分摂取は可**)しかし、腹部の検査でも「MRCP」という特殊な検査だけは、**絶食絶飲**として水分もとらないようにお願いします。血圧など**服用中のお薬は、通常どおり服用**して来院ください。

3. 検査の注意

検査室内全体が強い磁石になっているようなものなので、検査前に金属類はすべて外していただきます。

・時計 ・携帯電話 ・磁気カード(銀行カード、図書カードなど) ・ヘアピン ・アクセサリー類
使い捨てカイロ ・小銭 ・ライター ・エレキバン ・かつら ・入れ歯
などはあらかじめご自分で外しておいてください。

ペースメーカーの方は撮影できません。また、身体の中に金属が入っている場合(ステント・ワイヤーなど)は事前に申し出てください。

化粧(特にマスカラ)、ネイル(ジェルネイルやマグネットネイル)をつけている方は検査が受けられない可能性があるため、できる限り化粧、ネイルは控えて来院してください。

4. 造影剤について

より詳しく病気を診断するために造影剤というお薬を使用することがあります。造影剤は安全な薬剤ですが、人により以下のような副作用を起こすことがあります。

軽い副作用

吐き気、嘔吐、動悸、かゆみ、ほっしん、くしゃみ、頭痛などが現れることがあります(100人に1人程度)。

重い副作用

血圧低下、呼吸困難、意識消失など生命に関わる症状が現れることがあります(2万人に1人程度)。非常に稀ですが病状や体質によっては死亡例も報告されています(100万人に1人程度)。当院では副作用に対応できる体制を整えて検査を行っており、緊急時には最善の処置を施行しますのでご安心ください。

5. 授乳中の方について

造影剤は母乳中に移行しますので、授乳中の方は48時間程度の授乳はさけて下さい。

6. その他

検査中の様子は、モニターとマイクを通じて観察していますのでご安心ください。検査への同意は施行までならいつでも撤回できますのでお申し出ください。その他、気になることがありましたら医師・看護師・放射線技師までご相談ください。

造影CTおよびヨード系造影検査をうけられる方へ

1. ヨード造影剤について

今回の検査では、ヨード造影剤という薬剤を使用します。この薬は、病気の状態を明らかにし、より詳しく診断するための検査薬です。

2. 副作用について

造影剤は安全な薬剤ですが、人により以下のような副作用を起こすことがあります。

軽い副作用

吐き気、嘔吐、動悸、かゆみ、ほっしん、くしゃみ、頭痛などが現れることがあります。(20人に1人程度)

重い副作用

血圧低下、呼吸困難、意識消失など生命に関わる症状が現れることがあります。(1万人に1人程度)
非常に稀ですが病状や体質によっては死亡例も報告されています。(約10~20万人に1人程度)

遅発性の副作用

時間の経過とともに副作用は少なくなります。稀に自宅に戻られてからや数日後に症状が現れることがあります。変わったことがあれば病院にご連絡ください。

3. 副作用の予測と緊急処置について

造影剤を使用することに注意が必要な患者様は、問診を通じて把握するよう努めますが、副作用を確実に予測する方法は現在のところありません。そこで当院では副作用に対応できる体制を整えて検査を行っており、緊急時には最善の処置を施行しますのでご安心ください。

4. 検査前の食事について

造影剤を使用する場合、**検査前1食は絶食**となります。しかし、脱水状態は逆に副作用を増加させるので、医師より水分制限の無い方は**ジュース・お茶・水で水分を補給してください**。(牛乳はダメです)

5. 服用中のお薬について

血圧など**服用中のお薬は通常どおり服用して**来院ください。ただし、ビグアナイド系糖尿病薬(メット・メルビンなど)を服用されている方は検査前に休薬が必要となりますので、医師の指示に従ってください。

6. 妊娠中や授乳中の方について

妊娠の可能性のある方は、検査前に申し出てください。造影剤は母乳中に移行しますので、授乳中の方は48時間程度の授乳はさけて下さい。

7. その他

検査への同意は施行までならいつでも撤回できますのでお申し出ください。

その他、気になることがありましたら医師・看護師・放射線技師までご相談ください。